

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市生涯学習振興財団	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
-----------------	---------------------------

基本事項

所管局課	教育委員会生涯学習部 施設運営担当	本市出えん金	80,000 千円
基本財産／資本金	80,000 千円	本市出えん率	100 %

1 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」における「今後の方向性」

当欄では、「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」において、外郭団体としての位置づけを「存続」するか、外郭団体としての位置づけを外れて「自律化」「解散」するかのいずれの方向性を決定したかを記載している。

方向性	存続
-----	----

2 今後取組を進めるうえでの「基本的方針」

当欄では、「今後の方向性」の実現に向けて、各団体が業務面、財務面、組織面及びその他の各分野ごとに取り組むべき課題等について記載している。

業務面	生涯学習総合センターにおいては、京都の各界各層の叡智を結集し、「最高水準の生涯学習」を創造し続けていくとともに、図書館では多様な市民ニーズに応えつつ、必要な情報を的確に発信し、豊かな市民生活の実現と京都市の文化力向上に取り組んでいく。
財務面	正規職員の少数精鋭化を進め、専門性の高い正規職員を中心に司書資格のある嘱託職員、経験豊富な退職再採用職員を活用し、高い専門性を維持し、かつ向上させながらも、人件費を削減し、一層効率性を高めていく。
組織面	より質の高い生涯学習事業推進のため、学術会議的な要素を合わせもつ役員会等の更なる充実と活性化を図るとともに、業務の精選・効率化を推進し、より一層機能的な組織運営を推進する。 また、派遣職員の縮減に伴う、財団職員による自立した法人運営体制の構築を図る。
その他	生涯学習総合センター及び図書館における事業実施については、教育委員会の方針のもと、これまでから、公共性と専門性の高い取組を実現するとともに、柔軟性及び効率性という点でも大きな成果を示してきた。今後もより良い運営及び事業実施をめざし、京都市の生涯学習事業の更なる充実と発展を担うことのできる組織体制の推進を図る。

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市生涯学習振興財団	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
-----------------	---------------------------

3 基本的方針を実現するための具体的取組(3年間の計画期間中における具体的取組)

- ① 「基本的方針」を実現するための具体的な取組を記載する。
- ② 取組ごとに、各年度の目標となる指標及び目標値を設定する。
- ③ 計画期間の最終年度(平成32年度)の目標値が中期経営計画全体の目標値となる。

(1)業務に関する取組

目標1「より質の高い生涯学習事業の推進」

取組内容	<p>市民の学習ニーズを踏まえ、大学・研究機関をはじめ各機関との密な連携のもと、これまで充実を図ってきた文化・歴史・芸術分野だけでなく、防災・健康・環境・人権・科学などの新たな分野の課題に向き合い、豊かな市民生活の実現に向けて必要となる、より多角的なテーマを取り上げて講座展開を図る。</p> <p>また、常にホスピタリティを念頭においた学習環境の改善を図ることによって、利用者へのサービス向上に努め、公的使命を担い「最高水準の生涯学習」を推進する財団として、設立趣旨に沿ったより質の高い事業を実施していく。</p>					
○指標	事業参加者数					
採用理由	生涯学習事業の実施実績を把握することができる。					
目標値	H28(実績)	H29(実績)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：人)
	193,000	199,000	193,000	194,000	195,000	
実現方法	<p>現行の体制及び予算の中で、一定の事業水準を維持しつつ、新たな取組を導入し、学びの裾野を広げていく。</p>					

目標2「豊かな市民生活の実現及び京都市の文化力向上を図る図書館事業の推進」

取組内容	<p>市民ニーズや市民の読書スタイルの変化に対応し、より一層魅力ある図書館づくりに努め、利用者の利便性の更なる向上に取り組んでいく。</p>					
○指標1	図書館の入館者数					
採用理由	読書や情報検索などの図書館の利用状況を把握できる。					
目標値	H28(実績)	H29(実績)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：人)
	4,243,000	4,121,000	4,247,000	4,248,000	4,249,000	
実現方法	<p>SNSなどの情報ツールやアンケート等を活用し、常に市民ニーズの確認を行いながら、広く読書の楽しさ大切さを発信し、図書館の活用度を高めていく。</p>					
○指標2	京・ライブラリーネットの充実による図書資料等の流通点数					
採用理由	<p>京都市図書館では、来館しなくても図書館サービスを受けることができる利便性の向上に力を注いでおり、インターネットによる予約サービスの導入や他館の図書資料等の取り寄せ、最寄館での図書資料等の返却、駅返却ポストの充実等を図ってきている。それに伴い、全館を巡る図書資料等の流通点数が年々増加している。</p>					
目標値	H28(実績)	H29(実績)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：点)
	2,988,660	2,993,000	2,991,000	2,994,000	2,997,000	
実現方法	<p>図書館システムの更新に伴うインターネット予約システムの向上、駅返却ポストの増設等による図書館の利便性・魅力を様々な手法で発信し、より多くの市民の利用を促進させていく。</p>					

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市生涯学習振興財団	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
-----------------	---------------------------

(2)財務に関する取組

目標 「人件費の抑制」						
取組内容	<p>京都市からの委託によって財団で「生涯学習事業及び図書館事業」を実施することにより、京都市が直接行う場合に比べ、人件費等の事業費を約7割に抑えられている。</p> <p>今後さらに、正規職員の少数精鋭化を進め、専門性の高い正規職員を中心に司書資格を持つ嘱託職員等や経験豊富な退職再採用職員を積極的に活用しながら、一層効率性を高めていく。</p>					
○指標	正規職員数（年度当初）					
目標値	H28(実績)	H29(実績)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：人)
	115	115	114	113	112	

(3)組織に関する取組

目標 「財団職員による自立した組織運営体制の構築」						
取組内容	<p>生涯学習総合センター・図書館の各館で実施する業務を精選し、より機能的・効率的な事業実施を図るための体制を推進する。</p> <p>また、再雇用職員等の活用を推進し、経験によるスキル・ノウハウを蓄積することで、業務の質を維持・発展させていく体制の確立を図るとともに、派遣職員の縮減が進められる中、財団職員による安定した組織運営体制の構築を進める。</p>					
○指標	財団職員補職者数（年度当初）					
目標値	H28(実績)	H29(実績)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：人)
	35	39	40	41	42	

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市生涯学習振興財団	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
-----------------	---------------------------

(4)その他の取組

目標 「より良い業務推進のための資質向上における取組の実施」						
取組内容	<p>長年にわたる生涯学習総合センター及び図書館における事業実施において、公共性と専門性の高い取組を実現し、柔軟性及び効率性という点でも大きな成果を示してきた。</p> <p>専門性の高い職員が生涯学習事業の企画実施や図書館事業の運営を担い、別事業への配置転換後もスキルを活かして更により良い事業展開を行うことで、質の高い取組を一層向上させる体制を継続させていく。</p>					
○指標	職員の司書資格保有率					
目標値	H28(実績)	H29(実績)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：%)
	74	73	73	74	74	

4 中期経営計画に対する意見

団体が作成した中期経営計画に対する、所管局の意見を記入します。

所管局	<p>市民ニーズや社会課題の多様化を踏まえながら、京都の各界の叡智を結集した財団ならではの高水準の生涯学習事業の実施や、様々な年齢層への読書活動の推進や利用者の利便性向上につながる図書館事業の実施など、特殊性の高い業務の担い手として京都市との強い連携が求められる外郭団体として、公共性の高い取組が積極的に計画されている。</p> <p>さらに、財務面・組織面でのスリム化や安定化に加え、司書資格を持つ専門性の高い職員の積極的配置がなされるなど、効率的かつ効果的な業務遂行が期待できる。</p>
-----	--